



1958年12月1日創立 国際ロータリー 第2730地区

鹿児島南ロータリークラブ

2025-2026年度 国際ロータリーメッセージ

「よいことのために手を取りあおう」「居心地の良いクラブとは」

週報

Vol.68 No.12

令和7年(2025年)

11月19日

【事務所】

〒890-0062 鹿児島市与次郎1丁目8-10

TEL:099(254)1117 FAX:099(254)1119

E-mail:south-rc@po.minc.ne.jp

【例会日】毎週水曜日 12:30~13:30

【例会場】サンロイヤルホテル

2025-2026年度 クラブのスローガン 「奉仕の理想を、みんなで分かちあおう」

姉妹クラブ: 台湾 高雄東 RC 友好クラブ: フィンランド ロヴァニエミ・サンタクロース RC ドイツ カールシュタット・アルンシュタイン RC 宮城県多賀市 多賀城 RC

会長:澤野 正幸 会長エレクト:杉原 浩 会長ノミニー: 幹事:福山 智子

2025-2026年度 RI会長 フランチェスコ・アレッソ

2025-2026年度 RI第2730地区ガバナー 西本幸則

市内グループガバナー補佐 A: 川原嘉裕(鹿児島令和RC) B: 田中和俊(鹿児島中央RC)

ロータリーフィー 財団 月 間



【第3147回例会】会員お誘いセミナー

令和7年11月12日 第3146回例会

[点鐘] [国歌斉唱]

[ロータリーソング] 奉仕の理想

[四つのテスト唱和] 福岡会員

[ゲストビジター紹介] 卓話者 湯之前清和様

日向 RC 会長 徳永博樹様

[お食事] 100万ドルのお食事3回目

[10月の出席報告] 出席率 46.59 メークアップ者 16名
で訂正出席率 64.77%

諏訪会員へお祝金贈呈

諏訪健策会員が令和7年度
県民表彰を受賞されました。
おめでとうございます。



バナー交換

日向 RC 徳永会長と澤野
会長がバナー交換され
ました。



記念品贈呈

【11月誕生記念品贈呈】

池田京子会員(21日) 澤野正幸会員(28日)
杉原 浩会員(16日) 中村義博会員(27日)

【11月出席率100%記念品贈呈】

武井美智子会員(RC歴17年)



会長の時間

皆さま、こんにちは。

先日、我がクラブから東條正博会員が「旭日双光章」を、
諏訪健策会員が「県民表彰」を受賞されました。長年それ
ぞれのご功績にあらためて深く敬意を表します。

さて、11月は「ロータリー財団月間」です。本来は財団
をテーマにした例会を設けることが推奨されているとお
伺いしましたが、例会は今、回数も減り、なかなか時間の
都合もあり難しいこともあります。

そのため、本日はこの会長の時間を通じて、改めて「ロー
タリー財団」のことを皆さんにご共有したいと思います。

My Rotary 内にある情報や資料で、私なりに調べたこと
ですので、間違いがあればご指導ください。

ロータリー財団は、1917年にアーチ・クランフ会長の「世
界で良いことをする」という提唱によって、たった26 ド
ル50セントの寄付から始まりました。ロータリアンにな
って5年目、クランフは1916-17年度クラブのロータリー
会長に選出されました。会長任期の終わりに近づいた1917
年のアトランタ大会(米国ジョージア州)で、クランフは
ロータリアンにこう呼びかけました。「ロータリーは今、
新たな時代に踏み出している。これまでに形づくられた輝
かしい原則を実践するための運営手法の改善が私たちに
求められている」そして行動の6つのポイントを挙げ、その
ひとつが基金の設立、すなわち後の国際ロータリー財団の
設立でした。

それが今では、世界中の平和、教育、医療、そして災害
支援に至るまで、あらゆる奉仕活動の基盤を支える大きな
力となっています。クランフは「よいことをする喜びのた
めに生きるべき」という言葉を残し、その生涯を閉じま
した。今年度のRI会長のメッセージはまさに「よいことの
ために手を取り合おう」です。

ロータリー財団では100年以上の時を経て、世界中の人々
の善意が形となり、今も無数の命と未来や支え、ロータ
リーの基本となっていることを忘れてはいけません。私たち
が参加している奉仕活動や奨学金支援も、このロータリ
ー財団の支援なしには実現できませんでした。

特にポリオ根絶活動は、世界中のロータリアンが一丸とな
って取り組んできた代表的なプロジェクトです。1950
年代には年間35万人の子どもが感染していたポリオが、
今では世界でわずかまで減少しました。

この成果は、ロータリー財団の支援、そしてその財団を支
えてきた会員の皆さまの寄付と努力の結晶です。

寄付という言葉を聞くと、私自身はどうしても「困っ
ている人に恵む」という印象をもっていましたが、実際には
「未来を育てるための投資」ではないでしょうか。誰かの
支えになり、そして困難に立ち向かう人の背中を押す。それこそが、ロータリー財団の寄付が生み出す“希望の連鎖”
ではないでしょうか。

どうかこの11月を機に、もう一度ロータリー財団の活動
に思いを寄せていただき、奉仕の輪を次の世代へつなぐ
力を、育てていければと思います。

今日は原稿を読まして頂き失礼しましたが、「ロー
タリー財団」について皆さまのご理解とご協力に感謝申し上げ
て、会長の時間とさせていただきます。ありがとうございました。

会務報告

①高雄東 RC 創立記念式典への参加者が、今のところ、会
員8名、同伴者4名の予定です。

②奉仕活動についてのアンケートを送っていますので、
12/1までに回答をお願いします。